

開示期間：26年7月頃まで

－ J A びほくのご案内－

Disclosure



ディスクロージャー誌

2013 半期開示



□表紙の説明□

ピオーネ：本年の販売金額は10億円超と見込まれ、施設物は7月中旬から8月中旬まで、露地物は8月下旬から11月中旬まで出荷しています。

フォクスフェイス：ブラジル原産のナス科の植物で、主に観賞用として9月から11月頃まで出荷しており、果実がキツネの顔に似ていることから、フォクスフェイスと呼ばれています。

(注)

記載金額の端数処理については、切り捨てて表示しています。そのため内訳金額を合計した金額が、合計欄の金額と一致しない場合があります。

半期ディスクロージャー

ご あ い さ つ

平素より、私どもJ Aびほくをご利用、お引き立ていただき厚くお礼申し上げます。
さて、このたび当J Aでは半期（9月末）ディスクロージャー誌を以下の項目について作成いたしましたので、皆様の当J Aに対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

今後とも、皆様に信頼される協同組合として努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 金融再生法開示債権

(単位：千円)

債権区分	平成25年3月末	平成25年9月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	96,018	89,650	▲6,368
危険債権	204,959	224,068	19,108
要管理債権	-	-	-
正常債権	15,697,608	15,086,285	▲611,322
合計	15,998,587	15,400,004	▲598,582

(注) 1. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

2. 「危険債権」

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 「要管理債権」

要注意先に対する債権のうち「3ヶ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」をいいます。

4. 「正常債権」

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、要管理債権、危険債権、破産更生債権およびこれらに準ずる債権以外のものに区分される債権をいいます。

5. 金融再生法開示債権のうち、要管理債権は貸出金、その他の債権は信用事業与信額（貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金）を開示の対象債権としています。

2. 単体自己資本比率

平成25年3月末	平成25年9月末（見込み）
18.72%	18.77%程度

（注）1. 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農林水産省告示2号）の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

3. 主要勘定の状況

（単位：千円）

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
貯 金	103,262,632	102,205,998	104,631,989
貸 出 金	15,896,710	15,953,182	15,349,949
預 け 金	80,138,662	78,682,583	81,964,972
有 価 証 券	8,430,665	8,730,818	8,770,675

4. 有価証券等時価情報

【有価証券】

（単位：千円）

種 類	平成25年3月末			平成25年9月末		
	帳簿価格	時 価	評価損益	帳簿価格	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	8,533,621	8,730,818	197,196	8,615,839	8,770,675	154,835
合 計	8,533,621	8,730,818	197,196	8,615,839	8,770,675	154,835

（注）1. 9月末の有価証券の時価は9末日における市場価格等に基づく時価としています。
 2. 帳簿価格は、売買目的有価証券については取得価格を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価法適用後、減損適用後の帳簿価格を記載しております。

5. 地域貢献情報

全般に関する事項	
協同組織の特性	<p>当 J A は、高梁市全域、真庭市の南西部、吉備中央町の南部を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織で、地域農業の活性化に資する地域金融機関であります。</p> <p>当 J A の資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当 J A では資金を必要とする組合員の皆様方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。</p> <p>当 J A は地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の充実に向けて、事業活動を展開しています。</p> <p>また、J A の総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組織として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。</p>
組合員数・出資金	組合員数 13,300 人 出資金 2,170,453 千円
1. 地域からの資金調達の状況	
(1) 貯金積金残高	貯金残高 104,631,989 千円
(2) 貯金商品	当座貯金 普通貯金 くみあい総合貯金 貯蓄貯金 通知貯金 別段貯金 定期貯金 譲渡性貯金 定期積金 等
2. 地域への資金供給の状況	
(1) 貸出金残高	組合員 9,269,299 千円 (家族含む) 地方公共団体等 3,544,792 千円 金融機関 1,770,000 千円 その他 765,858 千円
(2) 制度融資取扱い状況	農業近代化資金 農業改良資金 日本政策金融公庫資金 等
(3) 融資商品	住宅ローン マイカーローン 教育ローン 営農ローン 等
3. 農業振興活動・文化的・社会的貢献に関する事項 (地域とのつながり)	
(1) 農業振興活動	<ul style="list-style-type: none"> 各種補助事業の積極的な取り組みによる、ピオーネやトマト等の生産施設の設置と整備 トータルサポート事業、ピオーネ・トマト・ピーチスクールを開催し、担い手の確保と育成への取り組み 行政が進める「人・農地プラン」への支援と、優良農地の担い手への集積

	<ul style="list-style-type: none"> ・「出向く営農指導」の実践と、営農指導員の資質の向上による生産者対応の強化
(2) 文化的・社会的貢献に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A 食農教育プランや農業体験プログラムの促進 ・ 学校給食への地元農産物の提供支援 ・ 小学校へ教材本の寄贈 ・ 交通安全教室を幼稚園と小学校で開催 ・ 交通安全機器を管内の市と町へ寄贈 ・ 高齢者への生活支援 ・ 生活習慣病健診、巡回人間ドック健診等の健康維持活動 ・ ママさん大学、文化セミナー、料理教室、家の光大会等のカルチャー教室の開催 ・ 各種の農業関連イベントや地域活動への協賛や後援等
(3) 利用者ネットワーク化への取り組み	年金友の会 ゴルフ積立友の会 旅行積立友の会 グルメ積立友の会
(4) 情報提供活動	J A 広報紙（すくらむ）の発行 ホームページ 等
(5) 店舗体制	本店 木野山支店 落合支店 有漢支店 成羽支店 川上支店 備中支店 賀陽支店 大和支店 北房支店 上水田支店
4. 地域密着型金融への取り組み（中小企業等の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況を含む。）	
(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林中央金庫岡山支店と連携し、新規就農者等に対し訪問活動を実施 ・ 農業者等のニーズを捉え、金融を中心とする各種サービスの提供を実施
(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信用部門と営農部門との連携による農業者等への経営支援態勢整備の強化 ・ 多様化する農業者の金融ニーズに応えるため、農業金融担当者の知識向上のための研修会の実施 ・ 「J Aバンク農業金融プランナー」資格の取得 2名
(3) 農業者等への支援対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者宅への訪問頻度の向上 ・ 農業金融に関する情報提供 ・ 農業者の営農計画を踏まえた資金ニーズの的確な把握 ・ J Aバンク利子助成の効果的な活用 ・ 農業資金残高 1,728 百万円 融資実行件数 8 件（平成 25 年度）
(4) 農業者等のニーズに対応できる農業融資担当者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本店 2名 ・ 各支店 1名 配置